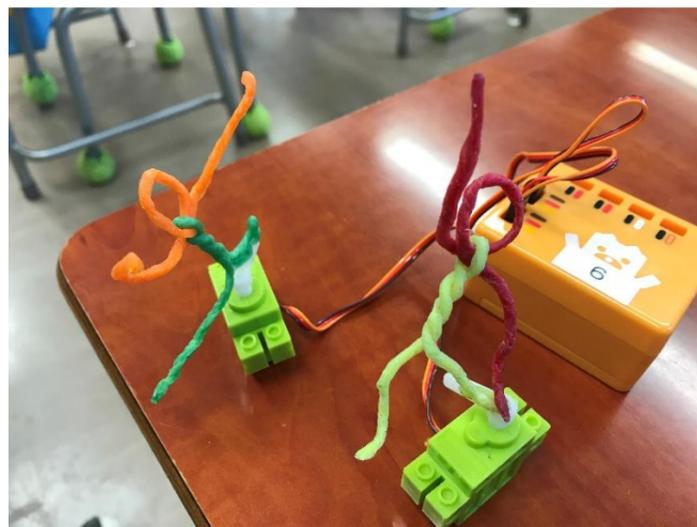




令和2年度 図画工作科題材集①



弘前大学教育学部附属小学校

八嶋孝幸

A 表現 (1) イ、(2) イ

B 鑑賞 (1) ア、[共通事項] (1) ア、イ

題材名

メモリアルドッグといっしょ

I 題材の目標

①「知識及び技能」

- ・メモリアルドッグと関わっている場面を絵に表すことを通して、メモリアルドッグや周りの様子の形や色のよさに気付く。
- ・表してみたい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表す。

②「思考力、判断力、表現力等」

- ・メモリアルドッグを鑑賞したことを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
- ・メモリアルドッグの鑑賞をして気付いたことや思ったことを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

③「学びに向かう力、人間性等」

- ・メモリアルドッグの鑑賞をして気付いたことや思ったことを基にイメージを広げながら、楽しく活動に取り組もうとする。

2 題材の設定や指導の工夫について

本題材は、弘前れんが倉庫美術館に展示されている「メモリアルドッグ」を鑑賞し、気付いたことや思ったことからイメージを広げ、メモリアルドッグと一緒にどんなことをしたいかの姿を絵に表すことを通して、資質・能力の育成を目指すものである。

①「知識及び技能」

「知識」の習得のために、まずは既習を確認するようにした。また、授業の途中では子供たちの表現の形や色の工夫を見て、そのよさを認め、全体に広めるようにした。

「技能」の習得のために、使い慣れたクレヨンを用具として抵抗なく表現できるようにするとともに、使用する色画用紙を選択したり試したりしながら創造的に表すことができるようにした。

②「思考力、判断力、表現力等」

「思考力・判断力・表現力等（発想や構想）」の育成のために、いろいろな角度や距離から撮影したメモリアルドッグの写真や動画、奈良美智の作品集などを用意し、多様な発見ができるようにした。

「思考力・判断力・表現力等（鑑賞）」の育成のために、導入の鑑賞では対話による鑑賞の手法を取り入れ、子供たちが対話を通して作品の造形要素から形や色の特徴を捉えることができるようにした。また、終末の鑑賞では視点を明確にして言語活動をするを通して子供たち同士がお互いの作品の面白さや楽しさ、表したいこと表し方などについて感じ取ったり考えたりできるようにし

た。

③「学びに向かう力、人間性等」

「学びに向かう力、人間性等」の涵養のために、地元の美術館と連携し、郷土の作家の作品を取り上げることで、子供のやってみようという思いを引き出せるようにした。

3 題材の全体計画（全2時間）

時間	学習活動 ☆子供の様子	○留意点 □評価の観点
1次 (30分)	鑑賞を通してイメージをもち、表したいことを見付ける。 ☆メモリアルドッグを鑑賞し、気付いたことや思ったことをどんどん交流する。 ☆鑑賞をしたことを基に、イメージを広げ表したいことを見付ける。	○いろいろな角度や距離から撮影したメモリアルドッグの写真や動画、奈良美智の作品集などを用意する。 □【思考・判断・表現（鑑賞）】 指導に生かす評価
2次 (50分)	メモリアルドッグと一緒にいる自分を絵に表す。 ☆どのようなかわりをするかイメージして絵に表す。	○使い慣れたクレヨンを用具とする。 ○使用する色画用紙を選択できるよ う、ある程度の量を用意する。 □【思考・判断・表現等（発想や構 想）】

		指導に生かす評価 □【知識・技能】 記録に残す評価
3次 (10分)	友達と作品を見合う。 ☆互いの絵を見合いながら、面白さや楽しさを感じ取る。	○作品を一面に並べ、比べながら鑑賞できるようにする。 □【思考・判断・表現（鑑賞）】 記録に残す評価 □【主体的に学習に取り組む態度】 記録に残す評価

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知識】メモリアルドッグと関わっている場面を絵に表すことを通して、メモリアルドッグや周りの様子の形や色のよさに気付いている。	【発想や構想】メモリアルドッグを鑑賞したことを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。	メモリアルドッグの鑑賞をして気付いたことや思ったことを基にイメージを広げながら、楽しく活動に取り組もうとし

<p>【技能】表してみたい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。</p>	<p>【鑑賞】メモリアルドッグの鑑賞をして気付いたことや思ったことを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p>	<p>ている。</p>
--	--	-------------

5 材料や用具

教師・・・鑑賞用写真、動画 色画用紙

児童・・・クレヨン

6 授業展開

①鑑賞を通してイメージをもち、表したいことを見付ける。(1次)

導入で奈良美智のメモリアルドッグの様々な角度や距離で撮影した写真や動画を提示し、対話による鑑賞を行った。写真や動画は美術館の教育普及担当の学芸員に依頼して撮影させてもらった。

子供たちは写真や動画で見た形や色などを基に、メモリアルドッグはどんな犬かということについて考えていた。子供たちがメモリアルドッグはどんな犬と思ったかについて意見は以下のものがあった。

- ・やさしそう ・おとなしそう
- ・言うことをききそう ・ゆったりしていそう
- ・さみしそう

鑑賞した後、「メモリアルドッグと一緒にどんなことをしたいですか。」という問いを投げかけた。子供たちは鑑賞したことを基にイメージを広げ、表したいことを見付けていた。



【思考・判断・表現（鑑賞）】指導に生かす評価

導入の鑑賞では対話による鑑賞の手法を取り入れ、子供たちが対話を通して作品の造形要素から形や色の特徴を捉えることができるようにした。子供たちの発言をつなげたり整理したりしながら共有することを通して、イメージを持ちづらい子供たちでも自分の考えをもてるようにした。

②メモリアルドッグと一緒にいる自分を絵に表す。(2次)

表したいことを見つけた子供たちは、メモリアルドッグと一緒にいる自分を絵に表した。その際に使用した用具は使い慣れたクレヨンである。使い慣れているので、スムーズに活動に取り組むことができた。また、紙は4色の色画用紙（黄色、桃色、水色、黄緑色）を、それぞれ学級の人数分用意した。自分のイメージに合う色を選択できるようにするためである。子供たちは好きな色を選んだりイメージに合うように形を工夫し



たりしながら、どのように表すかを試行錯誤していた。製作しながら、改めて写真や動画を鑑賞し、最初の鑑賞では気付かなかったことに気付く様子も多く見られた。

【知識・技能】記録に残す評価

表したいことをどのように形や色を工夫して表しているかについて、児童との対話したことのメモや写真や映像での記録を残した。

③友達と作品を見合う。(3次)

完成した作品は多目的室の床一面に並べ鑑賞した。それぞれが自分の表したいことをどのような形や色を工夫して表したかを考えながら鑑賞していた。友達と対話しながら鑑賞することを通して、造形的な面白さや楽しさなどについての自分の見方や考え方を広げている様子が見られた。



【思考・判断・表現（鑑賞）】記録に残す評価

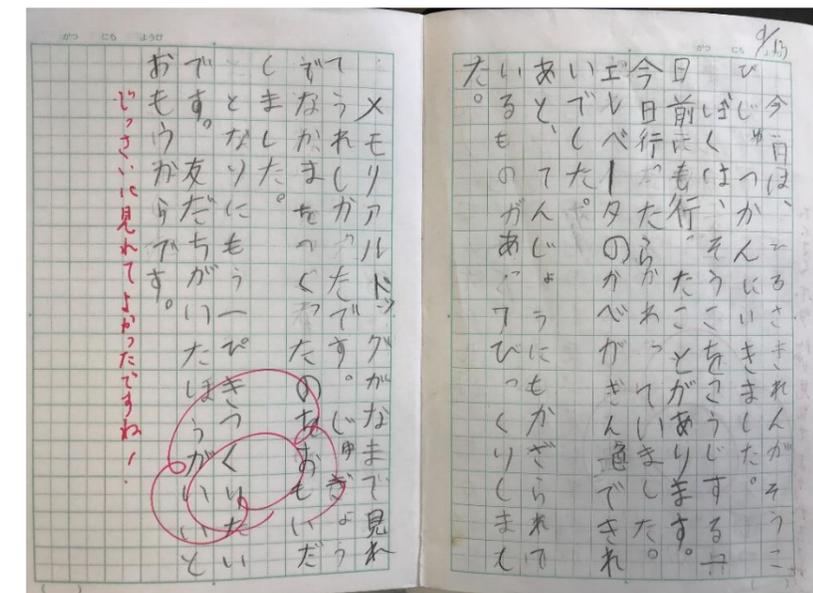
【主体的に学習に取り組む態度】記録に残す評価

子供たちの発言をメモや映像等で記録した。また、ワンペーパーポートフォリオシートを利用し子供たち自身が思考の変容や自覚した学びについて記録できるようにした。



指導を終えて

子供たちはイメージしたことを基に、自分だったらどのようにかわりたかを考えながら、思い思いに絵に表していた。コロナ禍で実現しなかったが、その後、改めて子供たちと美術館に行き、メモリアルドッグを鑑賞するとより深い学びにつなげられと思うので、状況を整え連れていきたい。個人的に美術館に行った子供たちは、授業のことを思い出してメモリアルドッグとの出会いを楽しんだと報告してくれた。本実践とは別に、鑑賞したことを基に「メモリアルドッグの友達」をつくろうという題材も行い、完成した作品はメモリアルドッグの前に展示した。絵でも立体でも鑑賞したことを基に表現することを通して、より鑑賞を深めるということに繋がったように思う。



A 表現 (1) イ、(2) イ

B 鑑賞 (1) ア、[共通事項] (1) ア、イ

題材名

コロナに負けないヒーローショー

I 題材の目標

①「知識及び技能」

- ・つくった仮面で遊ぶことを通して、仮面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや扱いやすさなどに気付く。
- ・土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをいろいろと試すなど、工夫して表す。

②「思考力、判断力、表現力等」

- ・どのように変身したいか自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
- ・どのように変身したいか自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

③「学びに向かう力、人間性等」

- ・仮面をつくって変身することへの興味をもち、楽しく取り組もうとする。

2 題材の設定や指導の工夫について

本題材は、かぶって楽しむ仮面を、お花紙などを使った張り子でつくったのしむ。ゴム風船で型をつくり、のり水をつけたお花紙などを貼り重ねて張り子状のかぶりものをつくることを通して、資質・能力の育成を目指すものである。

①「知識及び技能」

「知識」の習得のために、導入で教師が製作した見本を使用し、張り子のしくみについてしっかりと理解できるようにした。授業の途中では子供たちの表現の形や色の工夫を見て、そのよさを認め、全体に広めるようにした。

「技能」の習得のために、土台となる型の形やお花紙などの貼り方、飾り付けの方法をさまざまに試しながら創造的に表すことができるようにした。

②「思考力、判断力、表現力等」

「思考力・判断力・表現力等（発想や構想）（鑑賞）」の育成のために、つくった仮面を身に付けながら、オリジナルの決めポーズをしたり、なりきって台詞を言ったりなどのごっこ遊びをすることを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや扱いやすさなどに気付けるようにした。

③「学びに向かう力、人間性等」

「学びに向かう力、人間性等」の涵養のために、導入で好きなヒーローのどんなどころが好きかについて共有し、思いを引き出せるようにした。

3 題材の全体計画（全6時間）

時間	学習活動 ☆子供の様子	○留意点 □評価の観点
1次 (45分)	<p>題材について知り、表したいことを見付ける。</p> <p>☆「コロナに負けないヒーロー」に変身することを知り、ヒーローについてのイメージをもつ。</p> <p>☆張り子の仕組みについて知る。</p>	<p>○教師が製作した見本を使用し、張り子のしくみについて理解できるようにする。</p> <p>○好きなヒーローのどんなところが好きかについて共有し、思いを引き出せるようにする。</p> <p>□【知識・技能】 指導に生かす評価</p> <p>□【思考・判断・表現（発想や構想）】 指導に生かす評価</p>
2次 (180分)	<p>張り子の仕組みを生かし、「コロナに負けないヒーロー」を工作で表す。</p> <p>☆半紙、新聞の順に2回ずつはり、仕上げにお花紙をはる。</p> <p>☆乾いたら工夫して飾りつけをする。</p>	<p>○乾かす場所の確保をしたり、乾かす時間を考慮したりする。</p> <p>○多様な考えを生かせるように、ある程度の量の材料を用意する。</p> <p>□【思考・判断・表現等（発想や構想）】 記録に残す評価</p> <p>□【知識・技能】</p>

		記録に残す評価
3次 (45分)	<p>つくった仮面で遊んだり、友達と作品を見合ったりする。</p> <p>☆活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p>	<p>○作品を一面に並べ、比べながら鑑賞できるようにする。</p> <p>□【思考・判断・表現（鑑賞）】 記録に残す評価</p> <p>□【主体的に学習に取り組む態度】 記録に残す評価</p>

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知識】つくった仮面で遊ぶことを通して、仮面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや扱いやすさなどに気付いている。	【発想や構想】どのように変身したいか自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。	仮面をつくって変身することへの興味をもち、楽しく取り組もうとしている。

<p>【技能】土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをいろいろと試すなど、工夫して表す</p>	<p>【鑑賞】どのように変身したいか自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	
--	---	--

5 材料や用具

□教師・・・お花紙、カラーセロハン、セロハンテープ、洗濯のり、ボウル、トレー、画用紙、色画用紙、折り紙、新聞紙、半紙

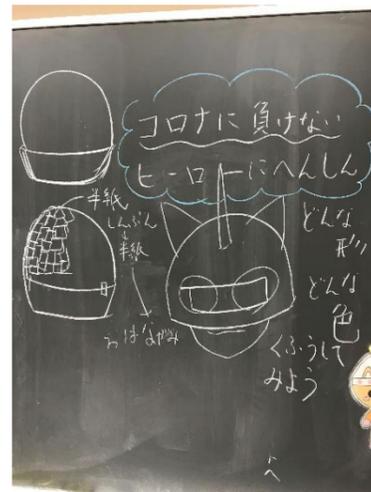
□児童・・・はさみ、筆

6 授業展開

①題材について知り、表したいことを見付ける。(1次)

導入で色々なヒーローの写真と教師が作成した見本を提示し、ヒーローのどんなところが好きかなどについて共有したり、張り子の仕組みについて確認したりした。その後、「コロナに負けないヒーローに変身しよう。」という課題を提示した。子供たちは共有したことなどを基に、

「コロナに負けないヒーロー」というものはどういうものかについてイメージを広げ、表したいことを見付けていた。見付けた表したいことは、ワンペーパーポートフォリオに記録し、整理しながら、イメージを確かにできるようにした。



【思考・判断・表現（発想や構想）】指導に生かす評価

導入の鑑賞ではヒーローのイメージについて対話した。子供たちの発言をつなげたり整理したりしながら共有することを通して、イメージを持ちづらい子供たちでも自分の考えをもてるようにした。また、ワンペーパーポートフォリオを使用し、イメージを確かにできるようにした。

②張り子の仕組みを生かし、「コロナに負けないヒーロー」を工作で表す。(2次)

表したいことを見付けた子供たちは、張り子の仕組みを生かしてコロナに負けないヒーローの仮面を工作で表した。土台となる型の形やお花紙などの貼り方、飾り付けの方法をさまざまに試しながら、自分のイメージに合うように試行錯誤していた。製作しながら、友達同士で鑑賞し合い、自分のイメージを広げたり深めたりする様子が見られた。



【知識・技能】記録に残す評価

表したいことをどのように形や色を工夫して表しているかについて、児童との対話したことのメモや写真や映像での記録を残した。

③つくった仮面で遊んだり、友達と作品を見合ったりする。(3次)

完成した作品を実際にかぶり、ごっこ遊びをしながら鑑賞し合った。製作した仮面の形や色などからイメージを広げ、ごっこ遊びをすることを通して、楽しみながら見方や感じ方を広げたり深めたりしている様子が見られた。ごっこ遊びの最中に、子供たちが共通点をさがすなどしながら、友達のヒーローたちとチームをつくり、活動を広げている様子も印象的であった。



指導を終えて

子供たちはイメージしたことを基に、形や色を工夫しながら工作で表していた。つくった仮面を使用して遊ぶことを通して、より学びを深めている様子が見られた。活動した後に撮影した写真を、学級の守り神として教室の扉付近に掲示した。掲示した作品を見て、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えたいという願いが作品にこめられていることを感じた。今年度だからできた題材設定であるが、その時の子供たちが必要観をもって取り組める課題設定を、今後も工夫したいと考える。

【思考・判断・表現（鑑賞）】記録に残す評価

【主体的に学習に取り組む態度】記録に残す評価

子供たちの発言をメモや映像等で記録した。また、ワンペーパーポートフォリオシートを利用し子供たち自身が思考の変容や自覚した学びについて記録できるようにした。

